

10月9日のウクライナ情報

安齋育郎

①ロシア大丈夫そ？ モスクワから緊急配信 2023年6月24日の街の様子 (2024年6月25日)

ロシア大丈夫？ と沢山のご心配メール/コメントありがとうございました🙏。モスクワは今のところ通常通りです！ というのをお見せしたく、緊急で動画回しました。撮影日は2023年6月24日19.00です。

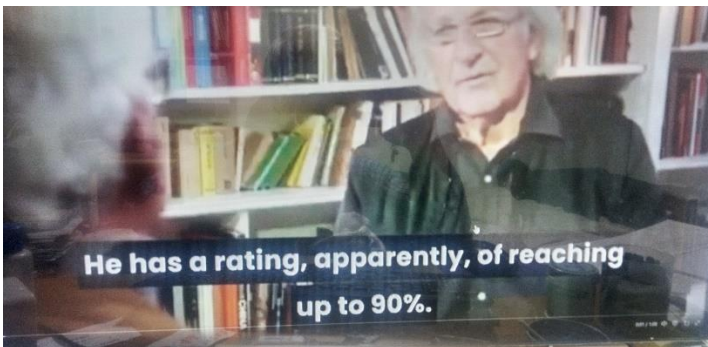
<https://youtu.be/paOLC bRux4>



<https://www.youtube.com/watch?v=paOLC bRux4>

②オーストラリアの伝説的ジャーナリストでありドキュメンタリー映画監督でもある ジョン・ピルガーは🇷🇺ウラジーミル・プーチンには人気があると評する(2024年10月6日)

<https://x.com/i/status/1842782148014788797>



これは西側のエリート達には受け入れがたい事だ。西側諸国の多くの人々は、なぜプーチンがこれほど人気があるのか不可解に思っている。

プーチンの支持率は90%にも上ると言われ、この支持率を上回る人はいない…

ピルガーによれば、この人気の理由は🇷🇺プーチンがエリツィン政権下の混乱し破壊的した数年間の後にRUロシアを回復させたからだという。

このようなロシアの独立は西側諸国にとっては耐え難いものである。

ピルガーにとって、これは帝国主義列強の敵に対するリトマス試験紙のようなものである。

ロシアは独立を回復しただけでなく軍産複合体を再建し軍隊を洗練された近代的な機械に変えた。
ロシアは独立国であるだけでなく自国を防衛できる国でもあるのです。
そして、それこそが容認できない事なのです。☹

<https://x.com/Reloaded7701/status/1842782148014788797?s=09>

③最高位勲章を授けられ得意顔の岸田文雄(2024年10月6日)

※投稿者コメント:10年にわたりジェノサイドに勤しみ、民間人の血で手を真っ赤に染めたUAゼレンスキー、ファシスト政権から最高位勲章を授けられ得意顔の岸田文雄・厚顔無恥の極み!

<https://x.com/i/status/1842789943263088678>



<https://x.com/yiyirobot/status/1842789943263088678/video/2>

④『コールド・ウォー: ドル覇権を崩壊させるプーチンの資源戦争』(2024年9月3日)

この本から見るプーチン大統領は私の目には『優れたビジネスマン』でした。

エネルギー市場のビッグプレイヤー の国有化、エネルギーを通じた外交、西側と喜んで取引してま
す。ただ、露の条件下という事。これを読み、ふと思ったのは、米国トランプ氏の自宅捜索は『フリーエ
ネルギー利権書』かも知れない。



<https://x.com/KiyomiK56915507/status/1566069854641090560?s=09>

マリン カツサ (著), Marin Katusa (原名), 渡辺 惣樹 (翻訳)

プーチンが仕掛ける新冷戦(コールド・ウォー)が

アメリカの覇権を終焉させる!?

東西冷戦をはるかに超えた熾烈な戦いが始まった。

ロシア・プーチンは膨大なエネルギー資源を武器に、

アメリカ覇権の核心たるペトロダラーシステム(ドルベースの資源取引)を打ち砕き、

大ロシア帝国を再興するべく世界各地で着々と歩を進めている。

ヨーロッパ各国は半ばプーチンの軍門に下り、オバマのアメリカの敗色は濃厚だ。

この劣勢は挽回できるのか。日本は一蓮托生、アメリカと共に沈むのか。

資源開発現場で得た最新情報をもとに、世界激震の背後にある

プーチンのしたたかな資源戦略を洞察。

現在の米露関係とロシアによる覇権争いを予見した全米ベストセラー。

⑤我々は殺人者たちを支援してきた(スコット・リッター、2024年10月5日)

「凄まじい悲鳴だった。どうやって悲鳴をかき消したか知ってるか？

ウクライナの女性たちの合唱団が、バンデラの男たちに殺された人々の悲鳴をかき消すために歌を歌ったのだ」

<https://x.com/i/status/1842570795987714520>



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1842570795987714520?s=09>

⑥ルカシエンコBY大統領の言葉(2024年10月6日)

心配いらない。

我々はウクライナ人たちと争わない。彼らも我々に対して戦いたくない。

聞いてくれ。

なぜ、こんなことを請け負わなければならないんだ？我々が、何のために？向こうには我々の同胞がいるんだぞ。

<https://x.com/i/status/1842693566289924437>



https://x.com/Kumi_japonesa/status/1842693566289924437?s=09

⑦ウクライナのバルチザン(2024年10月7日)

ウラジーミル・プーチンの誕生日である今日、キエフのバルチザンは1000枚以上のロシア大統領のビラを投函した。ウクライナの首都のあるヤードでは、TCCのバスがビラで完全に覆われているのが見つかった。

<https://x.com/i/status/1843220925682274453>

<https://x.com/Z58633894/status/1843220925682274453?s=09>

⑧オランダ、F16 戦闘機の第一陣をウクライナに供与(2024年10月7日)

オランダのブレケルマンス国防相は6日、SNS・Xに投稿した中で、オランダはF16戦闘機の第一陣をウクライナに引き渡し、残りの機体も近く送られると明らかにした。

「オランダのF16戦闘機がウクライナに引き渡されたことを初めて公式に発表できる。残りの24機も今後数カ月以内に納入される予定だ」

ブレケルマンス氏は9月末、オランダ空軍が旧式のF16戦闘機をウクライナとルーマニアに供与し、同機はそこで「新たな命を吹き込まれる」と語っていた。

今年7月、デンマーク、オランダ、米国は、ウクライナ軍にF16戦闘機を引き渡すプロセスの開始を表明した。8月4日、ゼレンスキー大統領は供与された米国製F16戦闘機がウクライナに到着したと発表した。

しかし8月26日、米国から供与されたF16戦闘機1機が墜落した。原因は定かではないが、米国防総省関係者は「露軍による撃墜ではない」との見方を示した。一方、ウクライナ軍が自軍の防空ミサイルシステムで誤爆したとの指摘もなされている。



<https://sputniknews.jp/20241007/f16-19178254.html>

🕒10月6日の戦線の状況(2024年10月6日)

ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する日報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

ウクライナ軍は過去24時間で最多で1620人の人員を失った。

オデッサ州ユージヌイ港で欧州の供与した弾薬の積み下ろしが行われてる場所をロシアの短距離弾道ミサイル「9K720「イスカデル」が攻撃。弾薬は破壊された。

ロシアの対空防衛システムは過去24時間でウクライナ軍の米国製M142高機動ロケット砲システム「ハイマース」の発射したロケット弾3発と、ドローン68機を迎撃した。



https://sputniknews.jp/20241006/106-19177054.html?rcmd_alg=collaboration2

⑩ロシア文学は町の歴史……ウクライナ市民らがプーシキン像の撤去に反対 (2024年10月6日)

ウクライナ南部の港町オデッサではロシア文学を代表する詩人、作家の記念碑撤去が決定された。一部の市民はこの決定取り消しに働きかけるよう、国連のユネスコに請願書を送った。

写真の男性が持っている抗議の紙にはロシア文学もまた町の歴史だと記されている。

「プーシキン、バーベリ、パウストフスキー、イリヤ・ペトロフ、ヴィソツキーに対する弾圧。これはオデッサの歴史に対する犯罪である」

オデッサ市当局はロシア文学を代表する詩人、作家の記念碑を撤去するほか、こうした文化人らの名を冠した道路や施設の名称変更を決定した。イタリア政府は文化施設の修繕として4500万ユーロ(7億3000万円)をオデッサに寄付したが、こうした支援金が記念碑撤去に充てられるとして批判の声もあがっている。

ゼレンスキー体制のウクライナでは脱ロシア化政策の一環で、ロシア語の使用制限に加え、ロシアに関係する記念碑が撤去されているほか、ロシアに縁のある地名なども変更されている。



https://sputniknews.jp/20241006/19173710.html?rcmd_alg=collaboration2